

徳島県徳島市方言における

身体感覚を表すオノマトペ

友定賢治

はじめに

- 1 調査対象地 徳島市は四国の東岸に位置し、県庁所在地である。人口は約26万人。
関西とのつながりが深い。
- 2 調査年月日 1991年11月17日
- 3 話者 椎野 峯(68歳)
林 八重(68歳)
他に椎野さんのご主人と、長男の嫁の椎野保子(40歳)さんが同席。
- 4 調査者 友定賢治
調査場所 椎野さんのお宅
- 5 調査方法 所定の質問票による面接質問調査

I 全身の感覚

1-1 快不快

さっぱり サッパリ

○ 汗をかいたが、風呂に入って~した。

◎ 「クツロイダ ナ。」と言うことも多い。

1-2 寒さ

がたがた ガタガタ、ガタガタ

○ 寒くて寒くて~する。

ぶるぶる ブルブル

○ 寒くて寒くて~する。

◎ ガタガタヨリ イッソー ツヨイ コトバジャ ナー。

ぞくぞく ゾクゾク、ゾンゾン

○ 風邪でもひいたのかな。~する。

すうすう スースー

○ 風邪でもひいたのかな。~する。

1-3 熱さ

ほかほか ホカホカ、ホカホカ

かっか カッカ
○ 酒を飲んだら身体が暖まって、～してきた。

○ 卵酒を飲んだら身体が～してきた。
◎ ホカホカヨリ チョット ツヨイデショー ナー。

1-4 暖かさ

ほかほか ボカボカ 《春、暖かさを感じるようになったとき》

1-5 寒さ

すうすう スースー 《風がはいて、背中が寒いときに使う》

1-6 はしかゆさ

いがいが イガイガ

II 皮膚の感覚

ひりひり ヒリヒリ

○ 海水浴で日焼けして、背中が～する。

べたべた ベタベタ、ベトベト

○ 今日は暑い。汗で背中が～する。

むずむず モゾモゾ

○ 背中に何か入って～する。

かさかさ カサカサ

がさがさ ガサガサ

○ 空気が乾燥していて、肌が～する。

すべすべ スベスベ

つるつる ツルツル

○ 温泉に浸かって、肌が～する。

ずきずき ズキズキ、ヒリヒリ、サクサク

○ 切り傷が～痛い。

◎ サクサクワ ヒキツッテ キタヨーナ カンジオ ユー ナー。

ずきずき ズキズキ、ズキンズキン

○ ころんで強く打ったところが～する。

ひりひり ヒリヒリ、ピリピリ

○ やけどしたところが～する。

ずきんずきん ズキズキ、ハチハチ

○ できものが腫れてきた。～する。

ほとほと 《該当語なし》

○ しもやけがひどくなって～する。

◎ イジリガユイテ ユー ナー。(いじり痒いと言うねえ。)

Ⅲ 頭部の感覚

3-1 頭

がながん ゾクゾク

○ 熱があって頭の奥が～する。

くらくら クラクラ、ポーット

○ 熱で頭が～する。

ずきずき ズキズキ、ズキズキ、ガンガン

○ 二日酔で頭が～する。

◎ ガンガンのほうが一層はげしい状態を言う。

がながん ガンガン《騒音がひどくて頭が痛いとき》

※ハチハチ《頭をうって、こぶが出来たときなどの割れるような痛み》

3-2 顔面

かっか ホカホカ

○ 恥ずかしくて顔が～する。

ほかほか ホカホカ《暖かくて顔がほてるとき》

3-3 目

ちかちか シバシバ

○ テレビを見過ぎて、目が～する。

しょぼしょぼ ショボショボ、ショボショボ《目の疲れたときは言うが、「煙くて目が～する」とは使わない》

ごろごろ ビリビリ

○ 目にゴミが入って、～する。

3-4 耳

じーん ジーン、ガンガン

○ ああうるさい。耳がまだ～する。

じくじく 《該当語なし》

○ 耳の中が腫れて汁が出ているようだ。～する。

3-5 鼻

むずむず モゾモゾ

○ くしゃみが出そうで、鼻が～する。

ぐじゅぐじゅ グジュグジュ、ズクズク、シュンシュン

○ 風邪をひいたようだ。鼻が～する。

つーん ツンツン

○ わさびを入れ過ぎて、鼻が～する。

3-6 口

(口全体)

ねちゃねちゃ ネチャネチャ、ネバネバ、ベチャベチャ、ベトベト

○ 納豆は嫌いだ。口が～する。

◎ 「ネチャネチャ」は、「ネチャッコイヒト(しつこい人)」、「ネチャ
ネチャ シャベル(しつこくしゃべる)」のようにも用いる。

べたべた ベタベタ

○ あんまり甘いものを食べたから、口が～する。

(歯)

がちがち ガタガタ、ガタガタ

○ 寒かった。歯が～鳴っている。

ずきずき キリキリ

○ 虫歯がひどくなって、歯が～する。

(舌)

ひりひり ヒリヒリ

○ 辛いカレーを食べたら、舌が～する。

3-7 喉

からから カラカラ

○ 水をくれ。喉が～だ。

いがいが ザラザラ

○ あくの抜けていない筍を食べて、喉が～する。

◎ 「イガイガ」には、子供が騒いでいるときなどに「イガイガ セラレン
ヨ。」といった使い方がある。

ぜえぜえ ゼーゼー、ヒューヒュー、ゼリゼリ、ジュリジュリ

○ 息が苦しい。～いっている。

IV 胴体

4-1 肩

こりこり 《該当語なし》

○ 肩が凝って～する。

4-2 胸

どきどき ドキドキ

○ ああ恐ろしかった。胸が～する。

むかむか ムカムカ

○ 悪いものを食べたようで、胸が～する。

4-3 腹

(空腹)

ぐうぐう グーグー

○ お腹がすいて～いう。

(満腹)

たぶたぶ ブクブク

○ 麦茶を飲み過ぎて、お腹が～いっている。

ばんばん ゲブゲブ

○ 食べ過ぎだ。腹が～になった。

(腹下し)

ごろごろ ガラガラ

○ 何か変なものを食べたようだ。腹が～鳴っている。

4-4 胃

きりきり キリキリ

○ 困ったことが多くて(ストレスがたまって)、胃が～する。

4-5 尻

むずむず モゾモゾ

○ 居心地が悪い。尻が～する。

V 手足の感覚

(手)

ぶるぶる ブルブル

○ 手が～震えて、箸がつかめない。

(足)

がくがく 《該当語なし》

○ 歩き過ぎて、足が～する。

◎ タイテー アシガポーニナッタ ユー ナー。

(その他)

ぬるぬる ヌルヌル、ヌルッ

○ 気持ちが悪い。～したものが手(足)にあたった。

ずきずき ズキズキ 《打ち身の時の痛み》

VI 関節の感覚

ごきごき 《該当語なし》

○ 寝違えて首が～する。

ばきばき 《該当語なし》

○ そんなに曲げると、骨が～（と）折れそうだ。

まとめ

- (1) 共通語と異なるものは、「ハチハチスル」「サクサクスル」など、数語にすぎない。
- (2) 2音節語基を反復する4音節語が隆盛で、アクセントは、「〇〇〇〇」が多い。ただし、意味を強めると「〇〇〇〇」となるものがみられる。

(ともさだけんじ 鳴門教育大学)